様式３の別添１

研究内容説明書
単施設研究用

研究協力のお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学横浜市北部病院精神科救急病棟における入院形態別患者の社会背景について

１．研究の対象および研究対象期間

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日に当院精神科救急病棟に入院された方

２．研究目的・方法

国連拷問禁止委員会や国連自由権規約委員会からの勧告・指摘があるように、世界的にみて日本では、措置入院や医療保護入院と呼ばれる非自発的な入院形態で入院となる患者さんが多い現状があります。非自発的入院を予防するためには、本人が入院の可否を判断できなくなるまで病状が悪化する前に、介入を行い、病状の改善や自発的な入院等に繋げて必要があると考えられます。そこで本研究では、目的入院時の入院形態別に社会的背景について調査を実施し、入院形態による社会的背景の違いについて明らかにしたいと考えています。そのため、本研究では、精神科救急病棟に入院した患者さんのデータを取得します。患者データは、「３．研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2025 年 3 月 31 日まで

３．研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、入院形態、入院回数、直近退院日、初診年齢、罹病期間、診断、入院時現症、治療状況、通院継続状況、家族状況、各種社会資源利用状況等を調査します。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院総合サポートセンター　　研究責任者：佐藤裕一
住所：224-8503　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1　　電話番号：045-949-7000